

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER Vol.5

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

BACK, To the FUTURE

～ 基本に戻って、未来へ～



Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 簡 仁一

2020-2021 年度

ガバナー月信 11月号



CONTENTS

ガバナーメッセージ(ロータリー財団月間に寄せて)	1
ロータリー財団月間に因んで	2
世界インターアクト週間にあたり	3
大阪のロータリー100周年準備に向けた地区組織の変更	4
地区大会のご案内	5
米山奨学生クラブ委員長・カウンセラー研修会 報告	6
公共イメージ向上並びにクラブビジョン策定セミナー 報告	8
クラブ国際奉仕委員長会議 報告	10
クラブ社会奉仕委員長会議 報告	12
地区ローターアクト活動報告	14
MY ROTARY 登録状況	15
5年間の年度初めの会員推移と現状会員数	16
コーディネーターニュース	18
ハイライトよねやま	20
敬弔・お知らせ	22

甘党四季こよみ

～霜月<おひもさんの巻>～

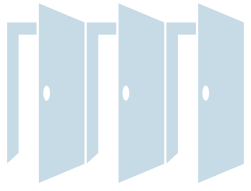
「おかいさん」に「おあげさん」。関西ならではの、こうした言葉遣いは、東京生まれの私には、なんともあたたかく響きます。

そんな名を持つ和菓子が、京・祇園の「鍵善良房」で秋から店頭には並ぶ「おひもさん」。蒸したさつまいもをつぶし、白あんと混ぜて焼き上げています。昔の仮名遣いのままの名前通り、素朴な味わいで、ニッキの香りが郷愁を誘います。

かつて、京の街には、底の浅い鍋に、輪切りにしたサツマイモをのせ、ふたをして蒸し焼きにする焼き芋屋があったそうです。「おひもさん」は、今では見かけなくなった、そんな情景を凝縮した和菓子なのでしょう。

「おいもさん、買うていこか」。こんな言葉を交わす親子が、焼き芋屋の湯気に包まれていたであろう京の街かどを想像しつつ、一口。古都の時の流れに思いをはせたくなるやさしい甘さが、口の中いっぱいに広がります。





ガバナーメッセージ ロータリー財団月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

簡 仁一
(英木RC)



「世界でよいことをしよう (Doing good in the world)」

ロータリー財団の標語でもある、この精神が始まりでした。1917年、アトランタでのロータリー一年次大会で、アーチ・クランプ会長が、「世界でよいことをする」ための基金設置を提案したのです。最初の寄付は、カンザスシティRCからの26ドル50セント。1928年には「ロータリー財団」と名づけられました。

以後、財団は成長を続け、2018－19年度の寄付総額は4億ドルに迫りました。その90%が各種プログラム補助金と、運営費に使用されています。全国のロータリアンから貴重な浄財が寄せられる財団は、財務管理の健全性と透明性から、米国のチャリティナビゲーター（慈善団体評価機関）で最高評価となる4つ星を獲得しています。

プログラムには、①地区補助金 ②グローバル補助金 ③ポリオプラス ④ロータリー平和センターがあります。2018－19年度は、大別すると、ポリオプラスに約45%、財団補助金（地区補助金とグローバル補助金）に約34%、ロータリー平和センターに約1%支出されました。

着目したいのは、ポリオプラスです。

ロータリーは、1979年のフィリピンでの予防接種をはじめとし、1985年にはポリオプラス・プログラムを開始しました。この成果がきっかけとなり、1988年に世界保健総会が、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）を創設しました。

こうした活動の成果は大きく、1985年には、125か国で35万人以上の感染が確認されていましたが、今年の8月26日（日本時間）には、WHOがアフリカでポリオが根絶されたと宣言しました。

ポリオの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2か国だけとなったのです。

一步一步、地道に活動を積み重ねることで、こうした成果につながったのでしょう。

今、コロナ禍のなかで、だれもが目に見えない不安と闘っています。ですが、こうした時だからこそ、「世界でよいことをしよう」という、ロータリー財団の始まりである精神を思い起こしましょう。

できることからでいいのです。ほんの少しの積み重ねが、いつか必ず、確かな形となって成果があらわれます。ともに力を合わせて、「世界でよいこと」をしていきましょう。



ロータリー財団月間に因んで アフリカ地域におけるポリオ根絶が宣言される ～誇るべき成果とあらたな闘い

ロータリー財団委員会 ポリオプラス小委員会 委員長

高士 誠司
(大阪西北RC)

2020年8月25日、WHOアフリカ地域の全47ヶ国において野生株ポリオウイルスの根絶が正式に認定されました。

この認定は、独立したアフリカ地域認定委員会 (ARCC) が、アフリカ地域で最後の症例が常在国であるナイジェリアで記録されてから4年の間、現地で徹底した検証を行った上で行われました。

アフリカ地域で野生株ポリオウイルスが根絶された今、世界人口の90%以上を占める6地域でポリオが根絶されたことになります。

この快挙は、体のまひを引き起こす恐ろしい病から世界中の子どもたちを守る闘いにおいて非常に大きな前進です。そして、世界ポリオ根絶活動計画 (GPEI) に携わるすべての人々、とりわけ数百万もの献身的な医療従事者や、その活動の当初から中心になって懸命に役割を果たしてきた私たちロータリーにとって非常に大きな成果です。

特に、私たち第2660地区はこれまで、歴代のガバナーを先頭に諸先輩方の並々ならぬ努力によりその役割を果たしてきました。2019-2020年度の第2660地区のポリオプラス寄付実績は日本の34地区の中で第1位であります。このアフリカ大陸における成果を得たことで私たちはあらためてロータリーの活動に誇りを持つとともに、第2660地区のロータリアンとして大いに誇りを持ちたいと思います。

しかしながら、現在世界は新型コロナウイルス感染症との闘いの真っ只中であります。またポリオ根絶活動においては残された常在国であるパキスタンとアフガニスタンにおいて近年異例のスピードで症例数の増加が報告されています。2018年に年間33件であったものが2019年は176件、2020年は10月7日の段階ですでに125件となっています。また、ポリオが根絶された地域においても「不活化ワクチン」の接種活動は継続してゆかなければなりません。私たちは新型コロナウイルスと、この2ヶ国の常在国の混迷した状況を前にして、諦めて投げ出してしまわなければならないのでしょうか？

そうではありません！当初よりロータリーはポリオ根絶のレガシーを他の未知の感染症との闘いに備えるため、と考え実行してきました。今、特に途上国におけるポリオワクチン予防接種のための医療インフラと人的ネットワークが新型コロナウイルスとの闘いをも担っています。

100年前ロータリー財団は、空前のパンデミックを引き起こした「スペイン風邪」との闘いを原点として、その活動を「世界でよいことをしよう」という呼びかけのもとにスタートさせました。あれから100年がたち、その間にポリオとの死闘を繰り広げ、またスタートに戻って来てしまったのかもしれませんが。だとしても、100年前とは違い、今は世界中に当時とは比べものにならないくらいの多くの仲間が存在し奉仕の力を振り絞っています。

ここで諦めるわけにはゆきません！新型コロナに打ち克ち、ポリオ根絶を果たす、という強い想いをロータリー財団月間である今月、皆様のクラブでも新たにしていだきたいと心よりお願い致します。



世界インターアクト週間にあたり

インターアクト委員会 委員長 福田 治夫
(守口イブニングRC)

日頃よりインターアクトの活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

毎年、11月5日を含む1週間は、世界インターアクト週間 (World Interact Week) に指定されています。インターアクトクラブ (以下I.A.C.という) は、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員 (インターアクター) との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるI.A.C.では、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

1959-60年度の国際ロータリー (Rotary International:以下 RI) 会長ハロルド・トーマスは、世界各地のロータリアンが共通して「青少年の奉仕活動に対してロータリークラブとしての能力が十分に発揮されていない」という気持ちを抱いていることに気づき、世界中の青少年が共に活動できるような組織を作ろうと1960年、5人のロータリアンからなる委員会を発足させました。2年後の1962年、世界最初のI.A.C.はアメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱によりその年の10月28日に結成23人でスタートしたメルボルン高校I.A.C.です。現在では、24645以上のI.A.C.があります。日本では1963年6月27日に仙台東RC提唱の仙台育英学園高校IACが最初で、現在633のI.A.C.があります。

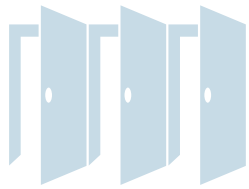
当2660地区では現在設立順に、清風学園 (大阪南RC)・大阪桐蔭 (大東RC)・浪速 (大阪帝塚山RC)・四天王寺 (大阪天王寺RC)・金光八尾 (八尾RC)・相愛 (大阪RC)・大阪国際大和田 (守口イブニングRC)・高槻 (高槻RC)・開明 (大阪中之島RC・大阪東RC)・アサンプション国際 (池田くればRC) の10校があります。

I.A.C.が合同で行う地区プログラムは海外研修、年次大会、新入生歓迎会と機関紙SCRUMの発行があります。海外研修は、夏休みを利用し概ね三泊四日で渡航先のI.A.C.と交流を深めながら現地で奉仕活動を行うものです。

本年の海外研修は台湾台北市において8月実施で計画し準備を進めてきましたが現下のコロナウイルス感染拡大防止のために残念ながら実施を見送りました。事情が許せば2021年の5～6月頃に台北市のI.A.C.とオンラインによる交流を図りたいと考えています。

インターアクト年次大会は、大阪国際大和田中学校・高等学校が担当し、11月8日 (日) に3密を避けるためにオンラインで開催予定です。

「奉仕の志」を持つ若者をより多く育てるためにも更なるI.A.C.の設立を目指したいと思います。そのためには未提唱のRCの参加・協力が必要です。今後ともI.A.C.へのご支援をお願いします。



大阪のロータリー100周年準備に向けた 地区組織の変更

地区代表幹事 **吉田政雄**
(茨木RC)

当地区は2年後の2022-23年度に大阪のロータリー創立100周年を迎えます。その準備を加速するため、現在の「大阪のロータリー100周年及び大阪万博に関する企画準備委員会」を「大阪のロータリー100周年準備委員会」と「大阪・関西万博企画準備委員会」に分け、「大阪のロータリー100周年準備委員会」の下に「100周年誌編集グループ」と「100周年記念事業企画グループ」を設けましたのでご報告致します。

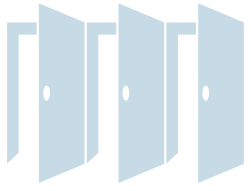
【変更前】

大阪のロータリー100周年および大阪万博に関する企画準備委員会

【変更後】

大阪のロータリー100周年準備委員会 委員長 宮里 唯子DGN (茨木西RC) 幹 事 下條 泰利 (大阪南RC)		大阪・関西万博企画準備委員会 委員長 山本 博史PDG (大阪南RC) 幹 事 宮里 唯子DGN (茨木西RC)	
100周年誌編集グループ		100周年記念事業企画グループ	
リーダー	木村 芳樹 (大阪南RC)	リーダー	新開 隆浩 (大阪南RC)
サブリーダー	矢部 敬一 (大阪RC)	委員	後藤 謙治 (大阪南RC)
委員	五味 千秋 (大阪心斎橋RC)	委員	早嶋 茂 (大阪RC)
委員	磯田 郁子 (大阪東淀ちゃやまちRC)	委員	岩佐 嘉昭 (東大阪RC)
委員	岩津 陽介 (大阪御堂筋本町RC)	委員	松尾 浩 (高槻RC)
委員	岡田 耕治 (東大阪東RC)	委員	松山 大祐 (大阪南RC)
委員	鈴木 洋 (八尾東RC)	委員	岡部 倫正 (大阪城南RC)
委員	吉崎 広江 (東大阪東RC)	委員	津村 昌明 (茨木西RC)
		委員	山本 和良 (大阪南RC)
		アドバイザー	立野 純三PDG (大阪RC)
		委員	簡 仁一DG (茨木RC)
		委員	四宮 孝郎PDG (大阪西南RC)
		委員	吉川 秀隆DGE (大阪RC)
		委員	木村 芳樹 (大阪南RC)
		委員	新倉 雄二 (大阪RC)
		委員	新開 隆浩 (大阪南RC)
		委員	矢部 敬一 (大阪RC)

(順不同敬称略)



地区大会のご案内

地区大会実行委員会 委員長

三好 千代子

(茨木RC)



2020－21年度地区大会の実行委員長を拝命しました茨木RCの三好千代子でございます。

思いっきり楽しい地区大会にしようと、茨木RC、茨木東RC、茨木西RCのメンバーで構成された実行委員一同で企画をたてていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅な縮小を強いられました。戸惑いながらも、今こそ、ロータリアンのあるべき姿が問われているのでは、と考え、改めて企画を練り直すことにしました。

今年度、国際ロータリーのホルガー・クナーク会長のテーマは、「Rotary Opens Opportunities ～ロータリーは機会の扉を開く～」です。そして、簡仁一ガバナーは、地区のスローガンを「Back, To the FUTURE ～基本に戻って、未来へ～」とされました。

実行委員会で話し合い、基本に立ち返ることにしました。人と人が距離をおかなくてはならないコロナ禍だからこそ、例会の大切さ、仲間と会って話し合うことの大切さも実感しております。

地区大会は、一年に一度、地区内のロータリアンが一同に会し、「機会の扉」を開く会です。今年度の地区大会は、12月12日（土）の一日のみの開催とし、各クラブの活動状況を紹介し、さらなる奉仕への情報発信をさせていただく機会にしようと思います。

また、「ウィズコロナ」の時代ならではの初めての試みと致しまして、地区のホームページからライブ配信をご覧いただけるようにしました。

第2660地区のロータリアン全員にご参加いただき、会場に来られない方は、臨場感のあるライブ配信を是非ご覧いただき、地区の現況を把握し、各クラブ活動の指針としていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



米山奨学生クラブ委員長・ カウンセラー研修会 報告

米山奨学委員会 委員

宮本里恵

(大阪アーバンRC)

日 時：2020年9月26日(土) 14:00～16:00

会 場：大阪YMCA国際文化センター 2階ホール

参加者：簡 仁一G、岡部 泰鑑P G、松本 進也P G、片山勉P G、山本 博史P G、四宮孝郎直前G、
ガバナー補佐、ガバナー補佐エレクト、吉田政雄地区代表幹事、クラブ米山奨学委員長、
カウンセラー、地区米山奨学委員

国際ロータリー第2660地区 2020-2021年度 米山奨学生クラブ委員長・カウンセラー研修会が9月21日(土) 大阪YMCA国際文化センターに於いて開催されました。今年度も昨年度に引き続きカウンセラー向けのスクール形式の研修として開催され、会場の他にライブ配信も行われました。地区関係者と各クラブより米山奨学委員長、カウンセラー計123名が参加しました。

松下和彦副委員長の司会のもと開会し、簡仁一Gの開会挨拶で、新型コロナウイルスの影響を受けている奨学生を含め、クラブでお世話をした奨学生達との旧交をあたためながら、米山奨学事業への更なる理解となお一層の協力への重要性についてお話し頂きました。来年6月に行われる米山学友会の世界大会が台北であることの案内も頂きました。続いて山本博史P Gより、学資支援と人材育成の2本柱で成り立っている米山奨学事業の中で、人材育成の観点から見て主役となる委員長とカウンセラーにむけて、更なる気づきを得てほしいことが伝えられました。次に地区米山奨学委員会の清水久博委員長より、米山記念奨学事業の目的、カウンセラーの役割、奨学生への対応、ハラスメントの認識や危機管理、奨学期間終了後の交流の大切さについて研修がありました。

後半には、よねやま親善大使のカレン・ジュリア・ウォータースさんより「学友について」の講演がありました。日本の子供たちに世界を体験して様々な文化に触れる機会を設けていること、感謝とご恩返ししたい気持ちを持っていたところ仕事を通してロータリアンの方々と出会い、米山との交流が再開したこと、ご自身のロータリアンとしての活動が紹介されました。

続いて、清水委員長とカレンさんと関スラさん(米山奨学生学友会(関西)会長)との座談会が行われました。清水委員長が質問をして、お二人が率直な意見を伝え合いました。奨学生になる前となった後でロータリーに対する印象が変わったかという質問に、学友として交流を深めたことにより視野が広がり、奉仕活動に興味があった等の意見がありました。またカウンセラーとして奨学生に対するときの注意点として、心の繋がりを大切にしてほしい、他のロータリアンに紹介してくれたことで疎外感がなくなった等の意見がありました。最後に松本進也P Gより講評を頂きました。本年は日本のロータリー 100周年の記念となる年であること、日本のロータリー(財団)活動の双璧は、ロータリー財団と米山記念奨学事業であること、その米山奨学事業の大きな特色であるカウンセラー制度が十分に機能し、2本柱である学資支援と人材育成を滞りなく遂行されることの重要性をお話いただき閉会となりました。





公共イメージ向上並びに クラブビジョン策定セミナー 報告

公共イメージ向上委員会 委員長 樋口 信 治
(大阪RC)

今年度の「公共イメージ向上セミナー」は、「2020年決議審議会及び2022年規定審議会報告」「クラブビジョン策定セミナー」と合わせて3部構成で開催されました。コロナ禍のため、会場の大阪YMCAに地区役員・クラブ参加者を合わせて60名余り、オンライン視聴者が110名弱、計170数名の参加を得ました。

●2020年決議審議会及び2022年規定審議会報告

立野規定審議会代表議員から、2020年決議案概要と特色が下記の如く報告されました。

1. 14か国から31件が上程され、日本・フランスが各5件と最多であるが、例年多く上程していたインドからゼロ、米国は1件と低調であること。
2. 2660地区は4件の決議案を提案したが、3件はRIが既に着手している運営にかかわるものであるとの理由で上程棄却され、最終的には1件の上程となったこと。
3. 財団補助金の使途、RI事務局長の任期、コロナに関連する活動、国連におけるロータリーの平和活動に関する決議案が上程されていること。

2022年規定審議会へのクラブ・地区からの制定案提案が今年末締め切りであるため、例会取消の規定を例示として提示し、制定案提案の必要性を説かれました。

●公共イメージ向上セミナーで取り上げた内容

1. 第2530地区（福島）が実施したロータリー認知度アンケート調査
2. ロータリー活動のさらなる充実・発展のため、ロータリアン一人ひとりが広報マンである
3. Withコロナにおける、メディアが取り上げたユニークな奉仕活動の実例
4. ロータリー賞を申請することの意義・2020-21年ロータリー賞概要
5. My ROTARYアカウント取得状況と今後の登録推進、ロータリーショーケース活用
6. クラブ活動広報におけるSNSとHPの役割及びSNSによる情報発信と決めておくべき事柄
7. オンライン例会のメリット・デメリットと、オンライン例会実施のために必要なもの

●クラブビジョン策定セミナー

片山地区規定審議・ビジョン策定委員会副委員長によって下記の如くセミナーが行われました。

1. 国際ロータリーの「ビジョン声明」及び「戦略的優先事項と目的」
2. 地区の「ビジョン声明」とガバナー・スローガンの関係
3. 「理念」「ビジョン」「戦略計画」の関係性。ビジョンはクラブの成長目標であり、ビジョンは理念ではない。戦略計画はビジョンを実現するための行動計画である。
4. クラブビジョンがなぜ必要なのか

5. クラブ戦略計画策定の要点
6. クラブ会長方針とクラブ戦略計画の関係
7. ビジョン策定のためのアンケート結果分析
8. アフターコロナに向けたクラブ運営アンケート結果分析

セミナーで使われた配布資料は下記のリンクからダウンロード頂けます。

- 2020年決議審議会及び2022年規定審議会報告及び公共イメージ向上セミナー
https://www.ri2660.gr.jp/ri2660/wp-content/uploads/kokyo20201010_siryo.pdf

- クラブビジョン策定セミナー（上段はセミナー、下段は関連資料）
https://www.ri2660.gr.jp/ri2660/wp-content/uploads/kokyo_clubvision.pdf
https://www.ri2660.gr.jp/ri2660/wp-content/uploads/kokyo_clubvision_siryo1-4.pdf

セミナーの様子はYouTubeを使って配信致しました。これらの動画は、例会やクラブフォーラムにて活用頂くことが出来ます。下記のリンクをクリックすると、各動画サイトに移動しますので、ご利用下さい。

- 2020年決議審議会及び2022年規定審議会報告（所要15分）
<https://www.youtube.com/watch?v=CL9vNRNpGGw&t=628s>
- セミナー趣旨説明（所要10分）
<https://www.youtube.com/watch?v=CL9vNRNpGGw&t=1481s>
- 公共イメージと認知度向上のためにWithコロナ時代の奉仕プロジェクトでクラブ広報活動の活性を！（所要25分）
<https://www.youtube.com/watch?v=CL9vNRNpGGw&t=1853s>
- 「2020-21年ロータリー賞説明」と「My Rotaryの活用」（所要20分）
<https://www.youtube.com/watch?v=CL9vNRNpGGw&t=3441s>
- SNSによる広報とオンライン例会の紹介（所要15分）
<https://www.youtube.com/watch?v=CL9vNRNpGGw&t=4475s>
- クラブビジョン・戦略計画について（所要30分）
<https://www.youtube.com/watch?v=CL9vNRNpGGw&t=6140s>

オンライン視聴者を飽きさせないよう、幹事団が絶えず画像に変化をつけて配信しました。また15分の休憩中には、松本DPG・山本DPG・吉川DGEにインタビューをしました。その模様は上記の動画でご覧頂けます。



クラブ国際奉仕委員長会議 報告

国際奉仕委員会 委員 徳上 洋之
(大阪リバーサイドRC)

日 時：2020年10月17日(土) 10:00～12:30

場 所：大阪 YMCA 国際文化センター

参加者：簡 仁一G、●高島凱夫PG、山本博史顧問団PG、片山 勉顧問団PG、四宮孝郎直前G、吉川秀隆GE、宮里唯子GN、AG 6名、AGE 6名、村橋義晃 ロータリー財団委員会補助金小委員会委員長、木下 基司国際奉仕委員会委員長、北井 雄大国際奉仕委員会副委員長ほか、地区関係者 36名(オンライン 12名)、クラブ 40名(オンライン 35名) 合計 123名
●オンライン参加

開会に当たり簡 仁一Gから、新型コロナウイルスの感染拡大を受け海外への渡航が制限される情勢において、「如何に国際奉仕を進めていくか」ならびに「今こそ求められる奉仕活動とは何か」を考える必要があり、国際状況を適切に見つめ新しい発想で奉仕活動を実施していただきたいと呼びかけをされました。

続いて、木下委員長から、本会議を含め各協議会や委員長会議においてオンラインでの参加を交えたハイブリッド型での開催を余儀なくされたこと、本会議のタイトルである〈新委員長になったものの…「今更聞けない我がクラブの国際奉仕事業」を、地区のみんなで聞いてみよう!〉の説明がありました。「当委員会は皆様のクラブの国際奉仕活動に何らかのお役に立てればと思っております。本日は事前に行った各クラブへのアンケートの結果をもとに6つのクラブの国際奉仕活動における苦労話や工夫話をして頂きます。講演後、質疑応答の時間も設けておりますので、皆様の活動に役立つ時間になればと思います」とお話がありました。

村橋地区ロータリー財団委員会補助金小委員会委員長より「国際奉仕活動のためのロータリー財団の補助金」について具体的な補助金の種類、重点分野、新型コロナウイルス対応グローバル補助金の申請要件、変更点を踏まえ積極的な補助金活用の呼びかけがありました。

事例発表講演では6つのクラブから発表をいただきました。

尾島康弘 会員(大阪堂島RC)

アフリカ最大のキベラ・スラムにおけるマゴソスクールへの奨学金支援について
現在のコロナ渦、感染したら家を取り壊しになる等アフリカの厳しい状況もお話しも頂きました。

小林 哲 会員(吹田西RC)

スリランカにおける住宅建設プロジェクト、タイの貧困地区にある公立学校へのクリーン・ウォーター・プロジェクトについて
国際奉仕活動を継続し続ける難しさ、現地ニーズを掴む方法はまず現地に行き交流する事、など参考になるお話も頂きました。

豊谷久仁子 会員(吹田RC)

「子供たちの命を守る」事業からはじまるミャンマー、ラオス、フィリピン、カンボジアでの支援活動について

毎年行われる事業を継続するにはクラブ全員が国際奉仕に対しての熱い思いを持つ事が大切であるとのお話も頂きました。

徳上洋之 会員 (大阪リバーサイドRC)

タイにおける疾病予防と治療、カンボジアにおける衛生環境改善支援について
グローバル補助金、地区補助金プロジェクトを企画する時のコツや苦労話

田島 暢 会員 (大阪平野RC)

フィリピンのセブ島における「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ」の方針のもと
音楽練習場建設などの支援活動について
補助金を使わない縛りのない幅の広い国際事業を継続するためのコツのお話も頂きました。

瓦谷 勝 会員 (大阪西南RC)

アメリカのシアトルにおける人材育成・交流を社会奉仕に繋げるYPE (Young Professional Exchange) 事業について
海外の若い方々との異文化交流による人材育成のやりがいが伝わるお話を沢山の動画や写真で紹介いただきました。

どのクラブも素晴らしい活動をされており様々な苦労や工夫をされてました。国際奉仕活動が活発なクラブ、そうでないクラブにとっても参考になるお話ばかりだったと思います。是非今後の活動の参考にしていただければと思います。

次に北井地区国際奉仕委員会副委員長から2021年度の台北国際大会と大阪ナイトの案内がありました。日程は、国際大会2021年6月12日～16日 大阪ナイト6月13日です。大阪ナイトの会場においては600人収容の圓山大飯店を押さえております。地区のホームページより簡単に事前登録ができます『奮ってご参加ください』。

閉会挨拶は、四宮孝郎直前GよりYPEの補足説明と本日のご講評を頂き、クラブ国際奉仕委員長会議が終了しました。

今回のクラブ国際奉仕委員長会議の様子は地区ホームページにYouTube配信されています。是非ご覧ください。





クラブ社会奉仕委員長会議 報告

社会奉仕委員会 委員

山村幸久

(大阪梅田東RC)

日 時：2020年10月17日(土) 14：30～16：30

場 所：大阪YMCA国際文化センター 2階ホール

参加者：簡仁一G、四宮孝郎直前G、吉川秀隆GE、宮里唯子GN、吉田政雄地区代表幹事、北山慎基地区ローターアクト代表、村橋義晃地区ロータリー財団委員会補助金小委員会委員長、矢作登大阪府健康医療部生活衛生室薬務課麻薬毒劇物グループ主査、森垣佳子地区社会奉仕委員会委員長、地区関係者33名、ローターアクト地区関係者5名、オンラインによる出席者45名、クラブ社会奉仕委員長34名、合計126名

コロナ禍の中、オンラインを含み多くの参加者にお集まりいただくことができました。

開会に当たり簡仁一Gから、本日の会議の趣旨説明と、コロナ禍の中、新しい形の地区社会奉仕委員会の地区における役割や活動を模索し、すばやい行動に移すことを説明いただきました。

森垣佳子地区社会奉仕委員長から、今年度の活動方針とウィズコロナからアフターコロナに向けての指針と各クラブからのアンケート結果を報告がありました。新たな試みとして、ホームページを利用した、地区、クラブ間の情報交換や協働クラブの募集や他団体とのコラボレーションを推進していく所存との強い意志を表明しました。

クラブ奉仕活動の事例として、地区社会奉仕委員の高木大介より発表がありました。地域とロータリークラブの関わりについて小さな輪からリンクしながら大きな集合体のつながる輪になっていく説明が、明快に形として見えた思いを伝えていただいたと思います。

次に、大阪府健康医療部薬務課の矢作啓様は、薬物乱用の現状について、「近年、大麻乱用で検挙された未成年者が増加している」との認識を示され、問題の深刻化と薬物乱用防止の重要性を訴え、根絶に向け理解と協力を呼びかけました。

北山地区ローターアクト代表、山口ローターアクト西ゾーン代理より、2020-2021年度第1回献血に関する報告及び「ロータリーアクト サポートシステムについて」と題して、RACの行動力、若い力が発揮された事例発表と活用の呼びかけ、またFacebookでRACの活動・魅力を配信しており、フォローの願いがありました。

続いて、村橋地区ロータリー財団委員会補助金小委員長より、「社会奉仕活動のための地区補助金」について説明がありました。今回は、ロータリー財団補助金の種類の中の地区補助金に限定して、具体的な申請要件、制約事項及びスケジュール等を説明いただき、地区補助金用の呼びかけがありました。

最後に、閉会挨拶は四宮孝郎直前Gより、本日のご講評をいただきました。

今回は、オンライン参加という初めての試みではありましたが、スムーズな進行がなされ、無事にクラブ社会奉仕委員長会議は終了いたしました。





地区ローターアクト 活動報告

ローターアクト代表 北山 慎基
(大阪天満橋RAC)

地区広報委員長 川原 大樹
(大阪東RAC)

「ローターアクト第一回地区献血」報告

2020-2021年度地区行事「第一回地区献血」を下記の日程で開催致しました。

開催日時：2020年10月11日(日) 10:00 開会 16:00 閉会

開催場所：茨木イオン前、京橋駅前、樟葉駅前、梅田HEP前、難波バス停前（高島屋前）

ホストクラブ：大阪ローターアクトクラブ

出席人数：約180名

日本赤十字社様のご協力のもと、第1回地区献血を大阪府下5地点にて行いました。

地区献血は第2660地区ローターアクトクラブ（以下、RAC）が30年という長年継続して行っている伝統行事です。献血者数が減少する夏と冬の年に2回、街頭で呼びかけを行っています。例年であれば夏に行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により10月に延期をし、献血活動の呼びかけ中は距離を取るなど、新型コロナウイルス対策を実施した上で開催しました。

結果として、受付者数385名、採血者数335名に献血のご協力をいただくことができました。このようなコロナ禍の中でも十分に結果を出すことができたと感じております。

各地点での結果は下記の通りです。

- イオン茨木前【受付者数87名 採血者数79名】
- 京橋駅前【受付者数69名 採血者数56名】
- 樟葉駅前【受付者数70名 採血者数62名】
- 梅田HEP前【受付者数75名 採血者数65名】
- 難波バス停前(高島屋前)【受付者数84名 献血者数73名】
- 合計【受付者数385名 採血者数335名】

今回の目標である採血者数300名を超えることが出来たのは、ロータリークラブの皆様やRACの皆様の呼びかけ・ご協力のおかげです。今回の結果を、次回の冬の献血活動においても活かせることが出来るよう、RAC会員一同日々の活動に注力していく所存です。





2020-21年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2020年10月度]

I M 第1組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	池田	30	25	83.3%
	池田くれは	32	32	100.0%
	箕面	27	17	63.0%
	箕面千里中央	19	8	42.1%
	大阪水都	41	25	61.0%
	大阪中央	65	59	90.8%
	大阪北梅田	58	33	56.9%
	大阪北	197	160	81.2%
	大阪大淀	34	20	58.8%
	大阪そねざき	34	17	50.0%
	大阪梅田	35	27	77.1%
	大阪梅田東	29	26	89.7%
	豊中	38	25	65.8%
	豊中千里	36	23	63.9%
	豊中南	23	14	60.9%
	合計	698	511	73.2%

I M 第4組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	東大阪	71	58	81.7%
	東大阪東	70	40	57.1%
	東大阪西	24	9	37.5%
	東大阪中央	21	14	66.7%
	東大阪みどり	19	6	31.6%
	大阪柏原	28	12	42.9%
	大阪御堂筋本町	48	25	52.1%
	大阪難波	58	27	46.6%
	大阪ネクスト	23	14	60.9%
	大阪南	186	153	82.3%
	八尾	68	46	67.6%
	八尾中央	12	9	75.0%
	八尾東	27	9	33.3%
	合計	655	422	64.4%

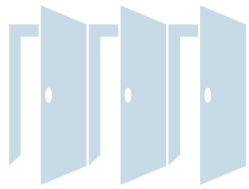
I M 第2組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	茨木	29	22	75.9%
	茨木東	38	16	42.1%
	茨木西	30	27	90.0%
	大阪東淀ちゃやまち	20	6	30.0%
	大阪淀川	19	9	47.4%
	千里	28	18	64.3%
	千里メイプル	17	11	64.7%
	摂津	30	9	30.0%
	新大阪	31	25	80.6%
	吹田	57	53	93.0%
	吹田江坂	26	22	84.6%
	吹田西	46	46	100.0%
	高槻	50	37	74.0%
	高槻東	30	29	96.7%
	高槻西	18	14	77.8%
	合計	469	344	73.3%

I M 第5組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大阪堂島	46	32	69.6%
	大阪フレンド	26	15	57.7%
	大阪みおつくし	12	7	58.3%
	大阪西北	34	20	58.8%
	大阪リバーサイド	33	32	97.0%
	大阪船場	35	25	71.4%
	大阪心斎橋	40	28	70.0%
	大阪西南	101	72	71.3%
	大阪ユニバーサルシティ	38	31	81.6%
	大阪アーバン	26	23	88.5%
	大阪うつば	40	31	77.5%
	大阪西	104	60	57.7%
	合計	535	376	70.3%

I M 第3組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大東	38	26	68.4%
	大東中央	27	8	29.6%
	枚方	45	21	46.7%
	門真	29	11	37.9%
	交野	41	20	48.8%
	香里園	15	11	73.3%
	くずは	87	84	96.6%
	守口	40	14	35.0%
	守口イブニング	24	6	25.0%
	寝屋川	36	9	25.0%
	大阪東	131	98	74.8%
	大阪城東	34	18	52.9%
	大阪城北	59	43	72.9%
	大阪鶴見	31	20	64.5%
	合計	637	389	61.1%

I M 第6組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大阪	260	91	35.0%
	大阪イブニング	13	9	69.2%
	大阪平野	52	44	84.6%
	大阪城南	47	45	95.7%
	大阪中之島	35	32	91.4%
	大阪大手前	23	22	95.7%
	大阪咲洲	20	16	80.0%
	大阪東南	32	32	100.0%
	大阪天満橋	44	26	59.1%
	大阪天王寺	50	34	68.0%
	大阪帝塚山	48	28	58.3%
	合計	624	379	60.7%

	会員数	登録人数	%
2020年10月4日	3618	2421	66.9%



5年間の年度初めの会員推移と現状会員数

	クラブ名	2016 7/1	2017 7/1	2018 7/1	2019-20					2020-21				
					7/1	6/30	入会	退会	増減	7/1	9/30	入会	退会	増減
I M 第 1 組	池田	35	32	31	30	30	3	3	0	30	30	0	0	0
	池田くれは	32	30	31	34	33	3	4	-1	33	32	0	1	-1
	箕面	27	28	29	29	27	1	3	-2	27	27	0	0	0
	箕面千里中央	24	21	21	20	17	0	3	-3	17	19	2	0	2
	大阪水都	—	34	45	40	36	6	10	-4	36	44	9	1	8
	大阪中央(※)	41	40	46	55	58	11	8	3	58	66	8	0	8
	大阪北梅田	65	64	63	60	58	1	3	-2	58	57	0	1	-1
	大阪北	183	181	188	189	196	19	12	7	196	196	3	3	0
	大阪大淀	40	42	40	36	33	0	3	-3	33	33	0	0	0
	大阪そねぎ	35	31	29	30	33	6	3	3	33	34	1	0	1
	大阪梅田	26	36	33	36	35	4	5	-1	35	35	0	0	0
	大阪梅田東	37	39	37	32	29	0	3	-3	29	29	0	0	0
	豊中	42	34	36	36	38	6	4	2	38	38	0	0	0
	豊中千里	37	37	37	36	35	2	3	-1	35	36	1	0	1
	豊中南	22	21	21	22	22	2	2	0	22	23	1	0	1
I M 第 2 組	茨木	28	30	28	29	28	1	2	-1	28	27	1	2	-1
	茨木東	41	38	37	37	36	2	3	-1	36	38	2	0	2
	茨木西	25	23	27	29	30	1	0	1	30	30	0	0	0
	大阪東淀ちゃやまち	29	27	25	22	20	1	3	-2	20	20	0	0	0
	大阪淀川	32	32	28	25	19	0	6	-6	19	18	0	1	-1
	千里	31	32	29	29	28	1	2	-1	28	28	0	0	0
	千里メイプル	23	21	20	20	16	0	4	-4	16	17	1	0	1
	摂津	31	32	33	32	30	0	2	-2	30	30	0	0	0
	新大阪	33	34	34	33	31	3	5	-2	31	31	0	0	0
	吹田	62	59	61	60	57	1	4	-3	57	57	0	0	0
	吹田江坂	32	28	27	30	26	1	5	-4	26	26	0	0	0
	吹田西	49	50	48	49	47	2	4	-2	47	46	0	1	-1
	高槻	49	51	51	48	49	8	7	1	49	50	1	0	1
	高槻東	36	37	38	36	29	1	8	-7	29	30	1	0	1
	高槻西	21	21	19	17	18	2	1	1	18	18	0	0	0
I M 第 3 組	大東	39	40	38	38	38	1	1	0	38	38	0	0	0
	大東中央	28	27	20	25	27	4	2	2	27	27	0	0	0
	枚方	50	51	49	46	45	3	4	-1	45	45	0	0	0
	門真	28	28	30	27	26	3	4	-1	26	29	3	0	3
	交野	38	35	34	34	40	6	0	6	40	41	1	0	1
	香里園	13	14	15	16	16	0	0	0	16	15	0	1	-1
	くずは	62	60	74	83	84	4	3	1	84	87	3	0	3
	守口	41	41	43	42	40	2	4	-2	40	39	0	1	-1
	守口イブニング	23	24	23	24	24	1	1	0	24	24	0	0	0
	寝屋川	40	38	39	37	37	2	2	0	37	36	0	1	-1
	大阪東	122	124	117	125	124	7	8	-1	124	130	6	0	6
	大阪城東	36	34	37	34	34	2	2	0	34	34	0	0	0
	大阪城北	58	57	54	58	59	7	6	1	59	59	0	0	0
	大阪鶴見	31	32	34	30	28	1	3	-2	28	31	3	0	3

	クラブ名	2016 7/1	2017 7/1	2018 7/1	2019-20					2020-21				
					7/1	6/30	入会	退会	増減	7/1	9/30	入会	退会	増減
I M 第 4 組	東大阪	78	75	73	74	70	4	8	-4	70	71	1	0	1
	東大阪東(※)	60	61	62	58	67	11	2	9	67	70	3	0	3
	東大阪西	29	28	31	29	25	1	5	-4	25	24	0	1	-1
	東大阪中央	23	22	18	19	21	3	1	2	21	21	0	0	0
	東大阪みどり	22	23	21	22	18	0	4	-4	18	19	1	0	1
	大阪柏原	27	26	27	27	28	2	1	1	28	28	0	0	0
	大阪御堂筋本町	52	47	44	47	47	2	2	0	47	48	1	0	1
	大阪難波	58	56	58	56	58	4	2	2	58	58	1	1	0
	大阪ネクスト	21	24	27	23	22	2	3	-1	22	23	1	0	1
	大阪南(※)	157	160	170	178	184	20	14	6	184	186	2	0	2
	八尾	56	54	58	60	68	8	0	8	68	68	1	1	0
	八尾中央	16	14	12	11	12	2	1	1	12	12	0	0	0
	八尾東	28	26	27	27	27	2	2	0	27	27	0	0	0
I M 第 5 組	大阪堂島	28	24	39	41	46	11	6	5	46	46	1	1	0
	大阪フレンド	26	26	21	21	26	5	0	5	26	26	0	0	0
	大阪みおつくし	17	11	8	14	12	0	2	-2	12	12	0	0	0
	大阪西北	46	43	42	33	34	3	2	1	34	34	0	0	0
	大阪リバーサイド	31	32	31	32	33	3	2	1	33	33	0	0	0
	大阪船場	38	40	36	33	35	4	2	2	35	35	0	0	0
	大阪心斎橋	36	38	38	38	38	4	4	0	38	40	2	0	2
	大阪西南	92	94	109	104	99	3	8	-5	99	101	2	0	2
	大阪ユニバーサルシティ	34	35	34	38	39	3	2	1	39	38	1	2	-1
	大阪アーバン	29	30	29	27	24	2	5	-3	24	26	2	0	2
	大阪うつぼ	34	33	36	38	39	2	1	1	39	40	1	0	1
	大阪西	88	99	100	103	103	9	9	0	103	104	2	1	1
I M 第 6 組	大阪	266	266	258	257	252	20	25	-5	252	260	11	3	8
	大阪イブニング	13	13	15	15	14	0	1	-1	14	13	0	1	-1
	大阪平野	37	42	44	47	50	5	2	3	50	51	1	0	1
	大阪城南	50	46	46	44	43	2	3	-1	43	46	4	1	3
	大阪中之島	33	30	29	35	36	2	1	1	36	35	0	1	-1
	大阪大手前	36	33	27	25	23	3	5	-2	23	23	0	0	0
	大阪咲洲	18	17	18	18	20	3	1	2	20	20	0	0	0
	大阪東南	35	35	34	35	32	1	4	-3	32	32	1	1	0
	大阪天満橋	56	57	50	48	44	3	7	-4	44	44	0	0	0
	大阪天王寺	51	49	46	52	51	8	9	-1	51	50	1	2	-1
	大阪帝塚山	46	47	43	44	47	5	2	3	47	48	2	1	1
合計		3544	3546	3560	3573	3553	293	313	-20	3553	3612	89	30	59

(2020年10月20日 ガバナー事務所集計)

※ 衛星クラブ含む 大阪中央 13人
東大阪東 11人
大阪南 10人



今年もあと2か月、世界中を巻き込んだ新型コロナウイルス禍はどうやら年を跨ぐことになりそうです。今月はアメリカ大統領選挙や東京オリンピックの開催についての最終判断など、来年の世界情勢に大きな影響を与える出来事がある注目の月になります。

さて我が国では9月の首相交代で、国政に新しい動きが出てきましたが、その中で大きな話題となっているものにデジタル庁の新設があります。世界レベルから見て周回遅れと言われていたわが国のデジタル対応レベル。新型コロナへの対応で官民共に浮彫になってしまったこの話は、行政や企業だけのものではなく、私たち日本のロータリーの世界にも当てはまる話でした。

我が国では近年、RIの大きな変化を理解できないとか、とてもついていけないとかいう声があちこちで聞かれましたが、これも大きく遅れをとっているデジタル対応と同じレベルの話ではないでしょうか。

1905年に我がロータリーを立ち上げたポール・ハリスは、1927年ベルギー・オステンドでの国際大会でおこなった挨拶で「ロータリーの奉仕理念は哲学ですから、万古普遍のものであり、みだりに変えるべきではありません。いや、絶対に変えてはなりません。しかし奉仕の実践は、社会のニーズに従って大胆に変化させなければ、誰からも頼りにされないばかりか相手にされません。また奉仕の理念を持って生き残りを賭けるならば、社会の変化に沿ったクラブの管理運営方法を考えねばなりません。そして、ロータリーが奉仕の理念を貫こうとするならば、常にパイオニアとして新しい試みに挑戦し続けることが必要なのです。」と述べています。まさにわが国の諺「不易流行」そのものです。

今、このコロナ禍では奉仕の実践については、従来行っていた国を越えての奉仕活動や、多人数の行動参加がやり辛くなっているのは事実です。またこの経済状況の中での会員増強には厳しい逆風が吹いているとも言えます。しかしながら、より魅力ある自分たちのクラブ作りや、地区の管理運営方等所謂ソフト面については、思いっきり見直すいいチャンスとも言えるのではないのでしょうか。自分たちのクラブや地区の管理運営方が、社会の変化に沿ったものになっているかどうか？新しい会員を迎えることにふさわしいものになっているかどうか？

これからの時代は何をするにも否応なしにデジタルとデータ、すなわちD系の時代である一方、それを活用するにふさわしい体制、すなわちソフトがシッカリしていることが今まで以上大切になってくる時代です。

まだ暫くは続くであろうこのピンチの時を、我々ロータリーの奉仕の理念を貫くにふさわしい新しい体制作りを確立するチャンスに変えようではありませんか。



第二地域ARPIC2期目の2600地区・佐久RCの原拓男です。皆様と共に勉強しながら公共イメージと認知度の向上に努力したいと思います。

さてコーディネーターニュース10月号で第1地域、寺嶋哲生ARPICが三地域合同オンラインセミナー報告を行いました。辰野克彦RI理事はセミナー冒頭の挨拶でアフリカでポリオが根絶されたがマスコミ報道でロータリーの果たしてきた功績が触れられなかった事を指摘され未だロータリーの公共イメージの向上が手法として不完全である事に対する反省の弁を述べたと紹介しました。合同セミナーでは公共放送であるNHKがニュースなどでロータリーを扱ってくれる事が重要だという意見がありました。幸い私はロータリーが縁でNHK関東甲信越番組審議会委員長を拝命しており辰野克彦RI理事、服部陽子第二地域RPICと連携してNHKの幹部に直接色々なアプローチを行いました。

先ずRIのブログ「ロータリーボイス」に掲載されている10月24日の世界ポリオデーに行われる世界や日本のイベント情報やロータリーが今まで如何にポリオ根絶に貢献して来たかの資料を提供しました。またポリオ根絶は1982年日本の2580地区(東京・沖縄)の麴町RCが創立15周年事業として会員の山田ツネさんと峰英二さんを中心に「南インド・ポリオ免疫プロジェクト」を行った事が始まりで国際ロータリーの最優先目標「ポリオ根絶」は日本のロータリークラブから始まった事などの資料も提供しました。私たちが提供した資料でNHKがロータリーをどの様に扱ってくれるかは判りませんが少なからず扱ってくれる事を期待しています。しかしこうしたマスコミを活用する事も重要ですが私たちロータリアンがロータリー財団や米山記念奨学会が長年、世界でどんな良い事をして来たかを学び身近な人たちに伝えて行くミニコミも非常に大事だと思っています。

辰野克彦RI理事はこの問題に対しRIに質問を行いました。返事の一つにロータリーによるポリオ根絶活動の話題を広げるにはクラブ、会員、RPICによる地元メディアへの働きかけに期待していますとあります。私たちに出来る事を行い公共イメージと認知度が向上すれば会員増強に繋がります以上社会に貢献できるでしょう。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 原 拓男(佐久RC)



1. 理事会・評議員会の決議事項

8月19日に開催を予定していた第26回理事会は、新型コロナウイルスの影響からやむなく開催を断念し、6月の理事会に続き、書面決議となりました。一般法人法第96条（定款第37条）に基づく「理事会の決議の省略」の方法により、8月24日付で全提案について、原案通り承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされました。

【第26回理事会の主な議案】

2020年度後任評議員候補者／2020年度理事・監事候補者／2019年度事業報告／2019年度計算書類／2020年度収支予算書一部修正 ほか

また、9月10日開催予定の第11回定時評議員会についても、同様の理由で通常開催は回避し、書面決議となりました。今回は、2年に一度の理事・監事の改選が行われ、各地区から推薦され、理事会の承認を経て上程された全34地区の理事候補者と3人の監事候補者につい

て、全評議員による個別承認方式での承認が行われました。本件とその他の協議事項（4地区の後任評議員候補、2019年度の計算書類の承認等）を合わせた全4議案について、一般法人法第194条（評議員会の決議の省略）に基づき、9月10日付で承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされました。

なお、同日付で、役員候補者指名委員会から推薦された下記役員候補者について、2020年度理事・監事による承認の旨の書面決議が成立しました。

理事長：齋藤直美（2760）

副理事長：山崎淳一（2830） 水野 功（2750）

常務理事：井原 實（2770） 相澤光春（2780）

滝澤功治（2680） 駒井英基（2740）

業務執行理事：水野 功（2750）

2. 日本に入国できない奨学生のメッセージ

新型コロナウイルスの水際対策として日本が行っている外国人の入国制限措置により、出国したまま4月以降も日本へ戻ってくることができない現役奨学生がいます。こうした奨学生はメールやSNSで世話クラブと連絡を取りながら、オンラインで例会に参加するなど工夫をしています。母国で日本へ戻る日を心待ちにしている奨学生たちの声を「奨学生報告書」から抜粋して紹介します。



マレーシア
秋田東 RC

1カ月の予定でマレーシアに帰省しました。日本へ戻る飛行機のチケットも取っていましたが、3月末までに2回もキャンセルされ、手配に奔走するうちに日本の入国制限が始まり、留学ビザの有効期限も切れてしまいました。4月からはオンラインで講義を受け、課題をしたり、論文を書くための文献を読んだりしました。指導教官の先生とはZoomで研究の進捗報告や相談をしています。

今日、秋田大学から在留資格認定証明書をいただけたので、日本大使館のビザ申請センターが開き次第、申請しに行きます！ビザが取れたらすぐに日本に戻って、和食を食べて、ロータリークラブの皆様会いたいです。



韓国
東京新宿 RC

日本の友達が私を忘れたらどうしよう、日本にいる人たちはもう私のことを気にしないだろう、と思った日。カウンセラーからメールが来ました。定期的な連絡はしていましたが、この日のメールは日本へ入国できるようになりそうだという内容でした。メールを読んだ瞬間、まだ直接会ったことはないが、私が日本に帰ることを心から待っていてくれる人がいるということに、感動しました。

ごこない新しい日常に慣れています、こうも考えます。新しい日常とは、今までのすべてが変わるわけではないのかもしれないと。人との間にある温かい真心が互いを感動させるという点では変わらないのだということ。

3. ナイジェリア大統領からの称賛

幼い頃に父親を亡くし、経済的理由から母国大学を中退せざるを得なかったイケナさん。働きながらチャンスを待ち、国費奨学金により日本への留学を果たしました。筑波大学大学院在籍中の2018-19学年度に米山奨学生となり、現在は博士課程に進学して母国の国内情勢について研究しています。

今年6月、帰宅中に財布の落とし物を発見したイケナさんはすぐに交番へ届け、報労金の説明にも「いらないです」と答えて交番を後にしました。5日後、落とし主からお礼の電話をもらってホッとしていたところ、この一連の行動がナイジェリア大統領の耳に届き、7月に「正直で誠実な行動を誇りに思う」という称賛のメッセージが大統領特別顧問により発表されました。このことが話題を呼び、日本の各メディアにも取り上げられました。



「日本のロータリアンの皆さま、水戸南RCのみなさま。米山奨学金のおかげで私は修士課程を修了することができました。このご恩をいつまでも忘れず感謝いたします。人種・地位・言語によって私を差別することなく対等に扱っていただきありがとうございました。私が素敵な経験をする手助けをしていただきありがとうございました。皆さまからいただいたこと、すべてに感謝申し上げます」

オリエンテーションにて▶

「日本のロータリアンの皆さま、水戸南RCのみなさま。米山奨学金のおかげで私は修士課程を修了することができました。このご恩をいつまでも忘れず感謝いたします。人種・地位・言語によって私を差別することなく対等に扱っていただきありがとうございました。私が素敵な経験をする手助けをしていただきありがとうございました。皆さまからいただいたこと、すべてに感謝申し上げます」



4. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金:4.7%減、特別寄付金:2.0%減）、約1,200万円の減少となりました。

当会へご報告いただいた7月1日現在の会員数を昨年同期と比較すると、全国で約2,200人減少しています。また、コロナ禍による困難な経済状況にもかかわらず、皆さまからご支援い

ただいていることに深く感謝申し上げます。

当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の財政優遇が受けられます。相続税も非課税となります。

今年度もぜひ、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

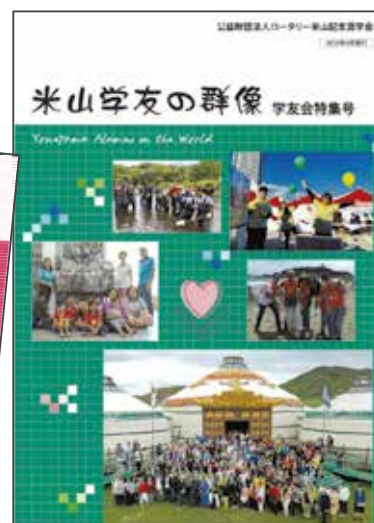
5. 今年度の米山月間資料はこちら！

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についてはほぼ網羅されている小冊子。会員数分お送りしますので、1人一冊お手元にお持ちください。また、『米山学友の群像 学友会特集号』は、「ロータリーの友」に2年間連載した学友会の紹介をまとめた一冊です。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付マニュアル合併）」「2019年度事業報告書」「2019年度決算報告」を送付します。

追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記載の上、お送りください。

9月23日より
順次発送



敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

西 村 五 郎 会員 (大阪城南RC)

2020年10月4日 ご逝去 満95歳

会長、理事、国際奉仕委員長、社会奉仕委員長
米山功労者(マルチプル)、ポール・ハリス・フェロー

森 下 美 恵 子 会員 (大阪西南RC)

2020年10月14日 ご逝去 満98歳

副会長、職業奉仕担当理事
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



お知らせ

守口RC ホームページアドレス変更 (2020年10月7日～)

<http://www.moriguchi-rc.net>

大阪北RC ホームページ リニューアル (2020年10月1日～)

<https://www.osaka-north-rc.org>

大阪みおつくしRC 例会場変更 (2020年9月1日～)

梅田スクエアビル 12階 会議室 大阪市北区梅田1-12-17
木曜日 12:30～

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX または E-mail にてお願い致します。
折り返し、できるだけ早くご連絡いたします。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月 20 日までに、事務所必着でお送りください。
原稿はなるべくパソコンで作成をお願いします。掲載の採否、字数の整理、並びに止むをない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任ください。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にて FAX をお願いいたします。

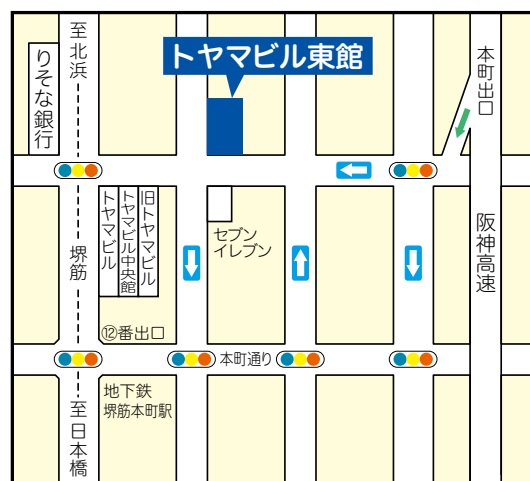
2020-21 年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所のご案内

事務所スタッフ

ガバナー 簡 仁一
地区代表幹事 吉田政雄
地区副代表幹事 土方慶之
事務所長 五味千秋
事務職員 栗正久美 井上望美
船橋美紗子 杉本亜鶴巳
加茂春日

所在地

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6 階
TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
Email gov@ri2660.gr.jp



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口直ぐ

[ホームページ](#)

<https://www.ri2660.gr.jp/>

勤務時間

9 : 30 ~ 18 : 00

休日

土曜・日曜・祝日
冬季休暇 12/29 ~ 1/4

ガバナー事務所に会議室を併設しております（最多36名）。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

月信編集委員会

ガバナー	簡 仁一（茨木 RC）	地区副代表幹事	土方慶之（茨木 RC）
地区代表幹事	吉田政雄（茨木 RC）	担当地区幹事	鈴木一正（茨木 RC）



Rotary International District 2660

Toyama Bldg,East 6F,1-5-11 Azuchi-machi,Chuo-ku,Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660